

山田錦を80ヘクタール作付けする巨大農場

圧倒的大農場と機械力、 アメリカの米生産現場のリアル

その2 報告者:中野正崇

彼らの経営規模を見る限り、日本のコンバインは興味もない、知らないと勝手に思っていましたが、そんなことはありませんでした。日本は倒れている稻を起こしてくるから素晴らしいと日本コンバインの刈取作業の動画を見せてくれたのです。なぜこの動画を見せてくれたのかというと、イズベルファームの山田錦の圃場はほぼ全て倒伏し刈取の生産性が下がるからなんとか解決したいとのことでした。価格を聞かれたので2千万円ですと答えた後日本コンバインの刈幅や刈取速度を説明すると、「5台必要だな」。これには笑いました。おもちゃのコンバインを買うんじやないんだからクリスさん。契約

書を持っていかなかつたことをこんなに後悔したことあります。乾燥調製についてですが、日本とは少し違っています。乾燥には灯油を使わず、送風のみで3週間かけて乾燥させるそうです。また農場では乾燥までを行い、その後の調製作業は別の共同施設で行うとのことでした。乾燥機というよりはサイロですが、作りは非常にシンプルなので乾燥中のリスクが少ない点は大きなメリットです。

さて、このように大きな機械が活躍できる理由は驚くほどの大区画圃場にあります。「どれがあなたたちの圃場ですか?」と聞くと「見えます。あなたたちの圃場です」と答えてくれました。右にある地線までといつた感じです。聞けば1枚の圃場が40haでそれが何枚も続いているのです。最近では田んぼの中の様子はドローンで観察していると

生産者通信

(前エコ・ライス新潟
定価 100円(送料込)

パリ・パラリンピック
金メダル
おめでとう!
車いすラグビー
日本代表

